

# 平成23年度水質の測定結果

1 目的 水質汚濁防止法の規定に基づき、本県域の水質汚濁の状況を監視する。

2 実施主体 宮崎県及び宮崎市

## 3 測定内容

県内の河川や海域などの公共用水域と地下水について水質汚濁の常時監視を行いました。

### (1) 測定項目

[公共用水域]

ア 健康項目 : 砒素など27項目

イ 生活環境項目 : 生物化学的酸素要求量(BOD)など9項目

ウ 要監視項目 : 農薬など26項目

エ その他の項目 : 銅など8項目

[地下水]

オ 環境基準項目 : 砒素など28項目

カ 要監視項目 : 農薬など20項目

### (2) 測定地点数

公共用水域				地下水
河川	海域	湖沼	計	
190	51	1	242	135

### (3) 測定回数

[公共用水域]

環境基準点においては原則年12回、その他の地点においては原則年4回実施しました。

[地下水]

原則年1回実施しました。

## 4 測定結果

環境基準として定められている健康項目と生活環境項目についての測定結果は次のとおりです。

### (1) 公共用水域

ア 健康項目

74地点(河川72地点、海域2地点)で測定を実施し、表1のとおり、砒素について3地点で環境基準を超えていました。

図1-1は、岩戸川水系土呂久川の2地点の砒素の昭和47年以降の経年変化を示しています。平成22年度と比較すると減少していますが、依然として環境基準超過の状態が続いています。図2-1は測定地点を示しています。

図1-2は、小丸川上流の1地点の砒素の昭和49年以降の経年変化を示しています。平成21年度以降、ほぼ横ばいで推移しています。図2-2は測定地点を示しています。

なお、砒素以外の健康項目については、すべて環境基準を達成し、環境基準達成率は95.9%となりました。

表1 砒素が環境基準を達成しなかった地点(環境基準:0.01mg/L)

水域名	河川名	地点	年平均値(mg/L)
岩戸川	土呂久川	東岸寺用水取水点	0.036
	土呂久川	岩川用水取水点	0.041
小丸川上流	板谷川	塊所橋	0.012

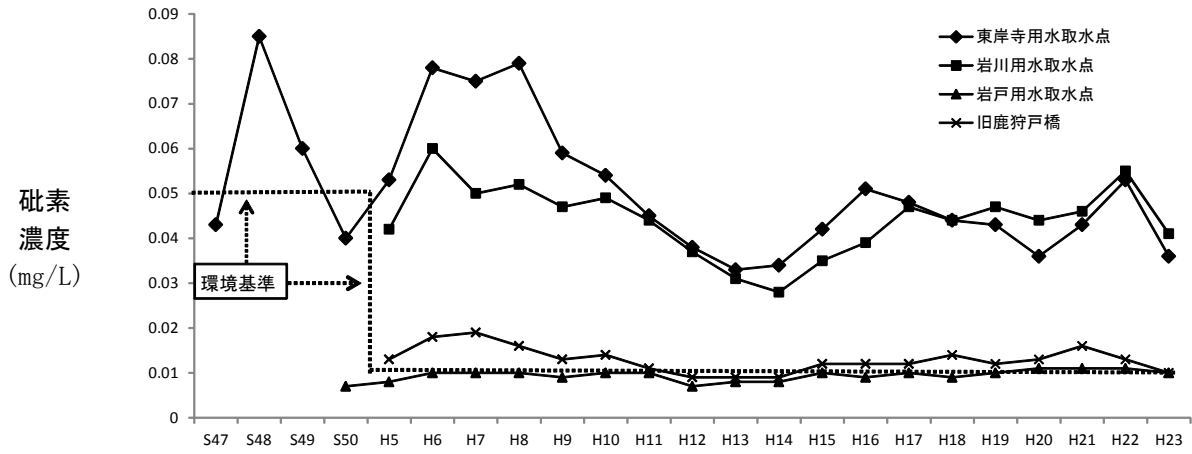


図1-1 岩戸川水域の砒素濃度経年変化  
 (\*環境基準：平成4年まで0.05mg/L, 平成5年より0.01mg/L)

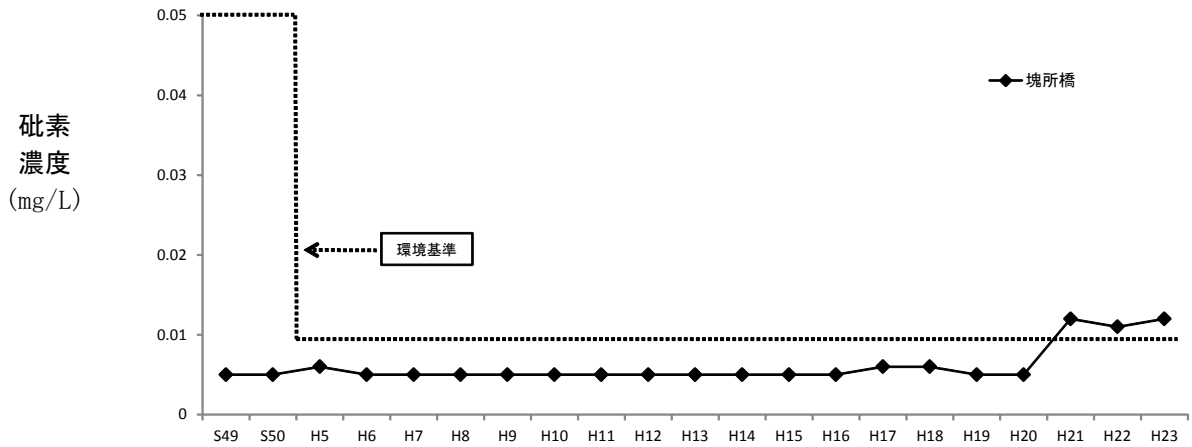


図1-2 小丸川上流（塊所橋）の砒素濃度経年変化  
 (\*環境基準：平成4年まで0.05mg/L, 平成5年より0.01mg/L)



図 2-1 岩戸川水系測定地点における過去 5 年間の砒素の測定結果 (単位:mg/L、環境基準:0.01mg/L)

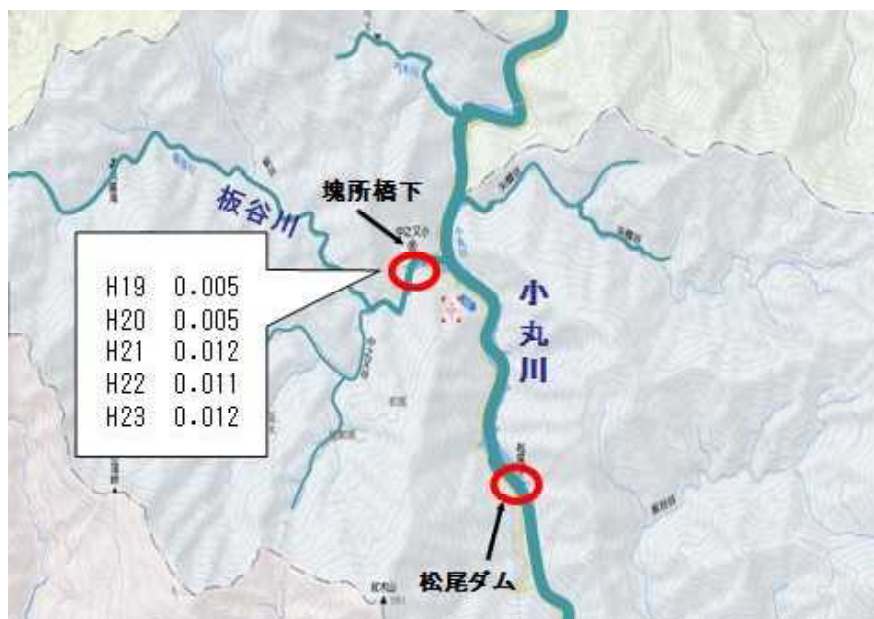


図 2-2 小丸川上流測定地点における過去 5 年間の砒素の測定結果 (単位:mg/L、環境基準:0.01mg/L)

イ 生活環境項目

河川汚濁の代表的指標であるBOD及び海域汚濁の代表的指標であるCODは、環境基準類型のあてはめられた89水域（河川79、海域10）中全ての地点で環境基準を達成していました。

環境基準達成率は100%となり、図3のとおり全国の達成率と比較して大きく上回っており、近年高い水準を保っています。

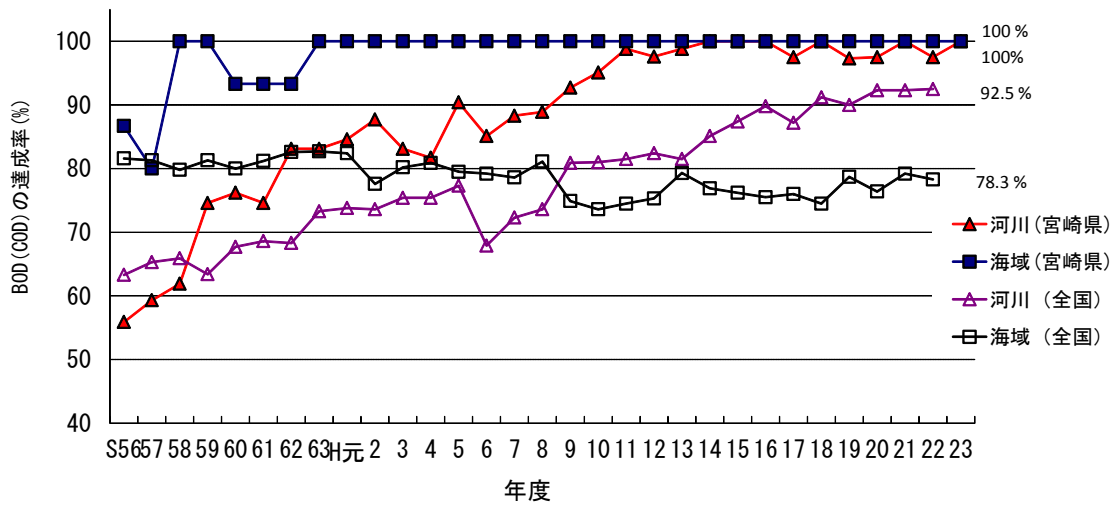


図3 河川（BOD）・海域（COD）の環境基準達成率の推移

(2) 地下水

ア 概況調査

地域の全体的な地下水質の把握のために県内を5kmメッシュに区切り実施するメッシュ調査と、有害物質を使用している（または過去に使用していた）事業場及びその周辺の井戸について実施する有害物質使用事業場周辺調査があり、メッシュ調査において、ヒ素及びふっ素が1本（都城市）の井戸で環境基準を超えていました。

イ 継続監視調査

過去に環境基準を超過していた井戸等の継続的な監視のために行う継続監視調査において、砒素が4本（宮崎市3本、日向市1本）、テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物が13本（宮崎市10本、延岡市3本）、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が6本（宮崎市2本、日向市1本、都城市1本、新富町1本、川南町1本）の井戸で環境基準を超えていました。

調査名		調査井戸本数	基準超過井戸本数	内 容 ※（ ）内は平成22年度結果
概況調査	メッシュ調査	47	1	ヒ素及びふっ素が1本環境基準超過 (硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が2本環境基準超過)
	有害物質使用事業場周辺調査	34	0	全て環境基準に適合（全て環境基準に適合）
	定点調査	2	0	全て環境基準に適合（全て環境基準に適合）
	計	83	1	
継続監視調査		52	23	砒素が4本（4本）、テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物が13本（13本）、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が6本（5本）環境基準超過

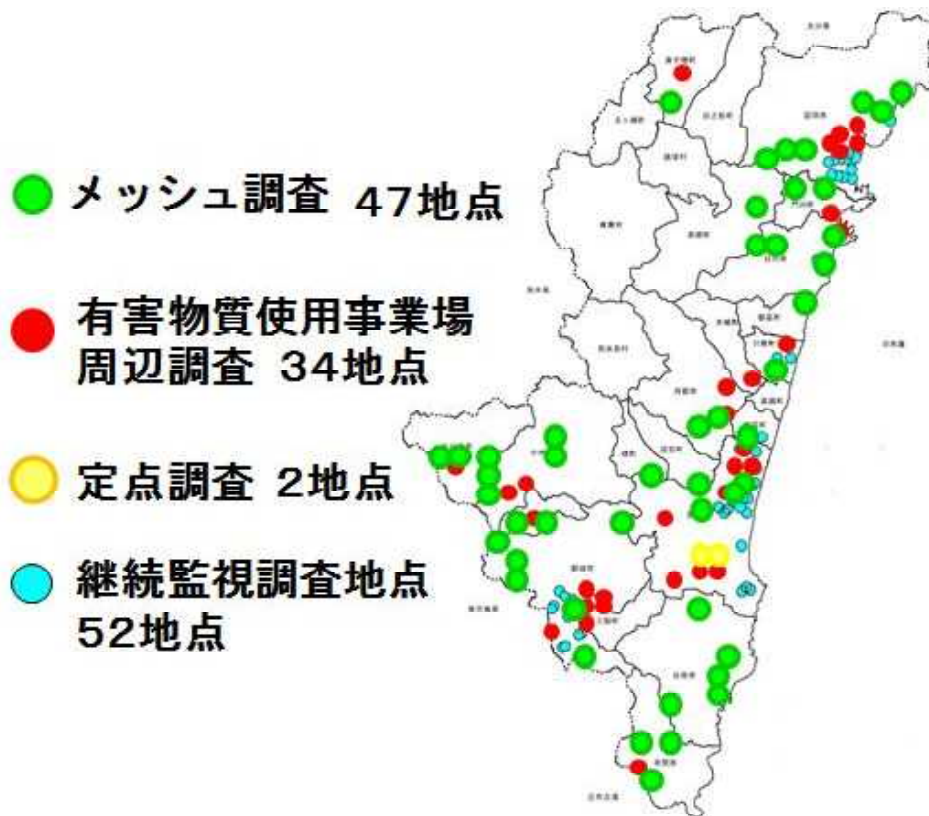


図1 地下水調査採水井戸状況（全体）

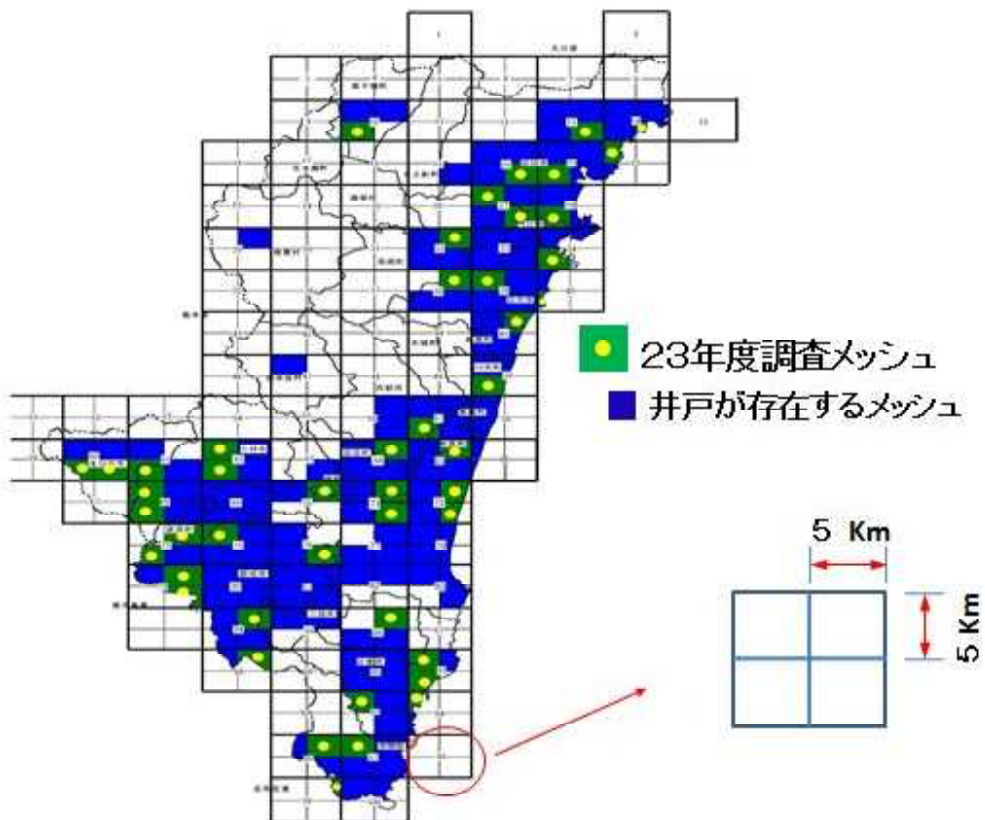


図2 メッシュ調査採水井戸状況